

岩手医科大学附属病院の移転に伴う市立病院の救急医療体制について

令和元年9月24日

市立病院

1 市立病院の救急医療体制

医大附属病院の移転に伴い、比較的症状が軽い初期救急患者や入院の必要のない二次救急患者が、特定の医療機関に集中することのないよう、従来からの二次救急患者に加えて、これまで以上に初期救急患者の受入れを行っていく。

市立病院では、7月以降、順次、特に夜間・休日の救急医療体制を強化してきたところであり、10月1日から新救急医療体制として移行・実施する。

(1) 医師複数科体制【7/1～】

7月1日から、23時まで医師複数科（内科系・外科系医師）体制とした。

平日 17:15～23:00 医師2人体制（23:00～ 1人）

休日（土・日、祝日） 8:30～23:00 医師2人体制（23:00～ 1人）

(2) 医大附属病院の診療制限期間に対応した体制【9/18～9/23】

医大附属病院の救急受入停止などの診療制限期間について、市民の救急医療体制に支障のないよう、次の体制とした。

ア 医師

(1)の体制（23時まで医師複数科体制）を継続

イ 看護師

平日 17:15～21:15 2人配置（21:15～ 1人）

休日（土・日、祝日） 8:30～21:15 2人配置（21:15～ 1人）

ウ 診療放射線技師

平日 17:15～21:30 1人配置

休日（土・日、祝日） 8:30～21:30 1人配置

（上記以外の時間帯は、オンコール（呼び出し待機）体制）

エ 薬剤師、臨床検査技師

休日（土・日、祝日） 8:30～17:15 1人配置

（上記以外の時間帯は、オンコール（呼び出し待機）体制）

オ 救急受付事務

平日・休日（土・日、祝日） 17:00～22:00 1人配置（新規委託）

（上記以外の時間帯は、従前のおり警備員等が対応）

(3) 新救急医療体制への移行・実施【10/1～】

上記（1）及び（2）の体制及び職員配置について、10月1日から、新救急医療体制として移行・実施する。

2 救急医療体制の周知

市立病院の救急医療体制について周知を図っており、引き続き、適切な情報提供に努めていく。

(1) 関係機関への周知

令和元年6月下旬、医大附属病院ほか関係医療機関を始め、市医師会を訪問し、救急医療体制における連携について確認するとともに、盛岡地区広域消防組合消防本部と救急搬送体制について情報共有した。

また、内丸メディカルセンターとの連携について、担当者間で打合せを行った。

(2) 広報もりおか等での周知

広報もりおか6月1日号及び9月15日号において、救急医療体制について周知したほか、市立病院ホームページで周知した。

(3) その他

盛岡保健医療圏8市町において作製・配付された救急医療機関の適正受診に関するポスターにおいて、市立病院が初期救急及び二次救急医療機関として周知された。

3 今後の対応

今後の救急患者の受入状況を見ながら、市医師会を始め、他の医療機関とも連携し、引き続き、市立病院が盛岡保健医療圏の救急医療に果たす役割の周知を含め、市民が安心して受診できる救急医療体制を構築していく。

《参考1》 医大附属病院の移転関係日程（主な日程） ※医大附属病院提供資料より

令和元年9/18（水） 予定入院の停止
9/19（木） 初期・二次・三次救急患者受入停止（0：00～）
9/20（金） 外来診療休診
9/21（土） 矢巾新病院・内丸メディカルセンター開院，入院患者搬送
9/24（火） 【矢巾・内丸】外来診療開始 【矢巾】予定入院開始
【矢巾】初期・二次・三次救急患者受入開始（8：30～）
【内丸】初期救急患者受入開始（17：00～21：00 平日のみ）
9/30（月） 【内丸】予定入院開始 【矢巾・内丸】予定手術開始

《参考2》 市立病院の救急患者受入状況

令和元年4月以降の救急患者の受入状況は、次のとおりとなっており、8月は前年同月のほぼ倍、8月までの累計でも前年同期に比べ、約3割増となっている。

《救急患者の状況（初期及び二次救急患者）》 (人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	小計	9月	10～3月	計
令和元年度	82	104	73	117	155	531	※79	-	-
平成30年度	72	83	80	92	80	407	80	478	965
増減	10	21	△7	25	75	124	-	-	-

※ 9/17 現在